



管内經濟情勢報告

令和 4 年 1 月
財務省東北財務局

管内経済情勢報告の調査方法の概略

◆調査対象・期間

前回（令和3年10月27日発表）以降に公表された指標と、今回判断（1月下旬）までのヒアリング情報

◆資料の分析とヒアリング調査

①各種指標を網羅した資料・計数分析

当局で直接調査している法人企業景気予測調査（回答企業692社）に加え、各関係機関が調査公表している各種の調査指標を詳細に分析。

②管内約550社へのヒアリング調査実施

各調査項目すべてにおいて広範かつ深度あるヒアリング調査を実施。

管内約550社からの協力を得て状況を聴取。

対象は主要企業のみならず中堅・中小企業にも実施。

上記により定量面・定性面を併せて分析し、経済情勢を立体的に判断。

なお、本報告の設備投資、企業収益、企業の景況感については、令和3年12月9日に公表した「法人企業景気予測調査（令和3年10－12月期）」の結果を活用しており、計数や判断コメントは12月に発表した内容と同じである。

東北財務局

1. 総論

【総括判断】「管内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しつつある」

項目	前回（3年10月判断）	今回（4年1月判断）	前回比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しつつある	➡

（注）4年1月判断は、前回3年10月判断以降、4年1月に入ってから足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している。生産活動は、電子部品・デバイスが自動車向けや通信機器向けなどで好調となっているほか、生産用機械が海外の設備投資需要を背景に高水準となっているなど、持ち直している。雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。

【各項目の判断】

項目	前回（3年10月判断）	今回（4年1月判断）	前回比較
個人消費	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している	➡
生産活動	持ち直している	持ち直している	➡
雇用情勢	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	➡
設備投資	3年度は増加見込み	3年度は増加見込み	➡
企業収益	3年度は増益見込み	3年度は増益見込み	➡
企業の景況感	「下降」超幅が縮小	「上昇」超に転じている	↗
住宅建設	前年を上回っている	前年を上回っている	➡
公共事業	前年度を下回っている	前年度を下回っている	➡

【先行き】

先行きについては、感染対策を徹底するなかで、各種政策の効果もあって、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、感染症による地域経済への影響を注視する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している」

スーパー販売は飲食料品が堅調となっており、前年並みとなっている。百貨店販売は前年を下回っているものの、来店客数に持ち直しの動きがみられる。コンビニエンスストア販売は冷凍食品等が底堅く推移しているものの、前年を下回っている。ドラッグストア販売は新規出店効果のほか、飲食料品等が堅調となっており、前年を上回っている。ホームセンター販売は家電等に需要の落ち着きがみられ、前年を下回っている。家電販売はパソコンや空気清浄機を中心に前年を下回っている。乗用車販売は納車に遅れがみられ、前年を下回っている。旅行は感染症の影響により、厳しい状況が続いているものの、国内旅行で持ち直しの動きがみられる。このように、個人消費は、感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している。

(主なヒアリング結果)

- 生鮮食品が相場高等により低調だったものの、商品開発に力を入れていることもあって総菜が好調。トータルで前年並みで推移したが、11月以降は外出機会の増加に伴い外食等へのシフトの動きも一部みられた。(スーパー、中小企業)
- 遠方からの来店も増えており、衣料品の売上げが回復してきたほか、ブランド品は好調が続いている。(百貨店)
- 内食需要は続いており、冷凍食品が好調である。(コンビニエンスストア、大企業)
- 調剤医薬品や飲食料品が好調となっている。(ドラッグストア、大企業)
- パソコンは在宅勤務、在宅学習需要の一巡により低調となっている。空気清浄機は感染症が落ち着いているためか想定よりも需要は低く、前年好調だった反動もあって低調となっている。(家電量販店、大企業)
- 新型車を中心に前年と同等の水準の受注があるものの、納車が長期化している状況は依然として続いている。(自動車販売、中小企業)
- 感染症の落ち着きに加え、ワクチン接種の進展により、個人客中心に動きがあり、GoToトラベルが行われていた前年同期を上回る水準の取扱いとなっている。(旅行代理店、中小企業)

■ 生産活動 「持ち直している」

電子部品・デバイスは自動車向けや通信機器向けなどで好調となっている。輸送機械は一部に弱さがみられるものの、足下では持ち直している。生産用機械は海外の半導体メーカーにおける設備投資需要を背景に高水準となっている。このように、生産活動は、持ち直している。

- 自動車向けについては受注残を抱えているため、休日返上で生産を続けている。(電子部品・デバイス、中堅企業)
- 高速通信規格5Gなど高容量化も相まって受注量、生産量が増加している。(電子部品・デバイス、中小企業)
- 半導体不足等の影響により国内各取引メーカーからの発注が減っていたが、足下では回復傾向となっている。(輸送機械、大企業)
- 取引先が半導体不足の影響を受け、当社への発注が減少している。(輸送機械、大企業)
- 世界的な半導体需要の増加により、海外メーカーによる設備投資の動きがみられ、生産量も高水準となっている。(生産用機械、中堅企業)

■ 雇用情勢 「新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある」

有効求人倍率は低下しているものの、新規求人数は製造業を中心に増加している。このように、雇用情勢は、感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。

- 有効求人数は3か月連続で低下しているが、新規求人数は底堅い。(公的機関)
- 旺盛な半導体需要により電子部品・デバイスにおいて、求人の動きがみられる。(公的機関)

- **設備投資** 「3年度は増加見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」3年10-12月期
 - 製造業では、パルプ・紙・紙加工品等で減少見込みとなっているものの、情報通信機械、輸送用機械等で増加見込みとなっていることから、全体では増加見込みとなっている。
 - 非製造業では、小売等で減少見込みとなっているものの、その他のサービス、専門・技術サービス等で増加見込みとなっていることから、全体では増加見込みとなっている。

- 量産対応のための投資により増加する見込みとなっている。(情報通信機械、中堅企業)
- 施設建設を継続して行っているため増加する見込みとなっている。(その他のサービス、中堅企業)

- **企業収益** 「3年度は増益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」3年10-12月期
 - 製造業では、食料品等で減益見込みとなっているものの、木材・木製品、生産用機械等で増益見込みとなっていることから、全体では増益見込みとなっている。
 - 非製造業では、卸売等で増益見込みとなっているものの、小売、専門・技術サービス等で減益見込みとなっていることから、全体では減益見込みとなっている。
- **企業の景況感** 「『上昇』超に転じている」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」3年10-12月期
 - 現状(3年10-12月期)は「上昇」超に転じている。先行きは、4年1-3月期に「下降」超に転じ、4年4-6月期に「上昇」超に転じる見通しとなっている。
- **住宅建設** 「前年を上回っている」
 - 新設住宅着工戸数をみると、持家、貸家、分譲いずれも前年を上回っている。
- **公共事業** 「前年度を下回っている」
 - 前払金保証請負金額は、国を中心として前年度を下回っている。
- **消費者物価** 「前年を上回っている」
- **金融** 「貸出金残高は、前年を上回っている」
- **企業倒産** 「件数は前年を下回っており、負債総額は前年を上回っている」

3. 各県の総括判断

	前回(3年10月判断)	今回(4年1月判断)	前回比較	総括判断の要点
青森県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しつつある	➡	個人消費は一部に弱さがみられるものの、持ち直しており、生産活動は緩やかに持ち直している。雇用情勢は新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。
岩手県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しつつある	➡	個人消費は新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しており、生産活動は持ち直している。雇用情勢は感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。
宮城県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しつつある	➡	個人消費は新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しており、生産活動は持ち直している。雇用情勢は感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。
秋田県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直しつつある	➡	個人消費は新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつあり、生産活動は持ち直している。雇用情勢は緩やかに持ち直しつつある。
山形県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直している	➡	個人消費は新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しており、生産活動は持ち直している。雇用情勢は感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している。
福島県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直しつつある	➡	個人消費は新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しており、生産活動はサプライチェーンの問題に広がりが見られるものの、緩やかに持ち直している。雇用情勢は感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。

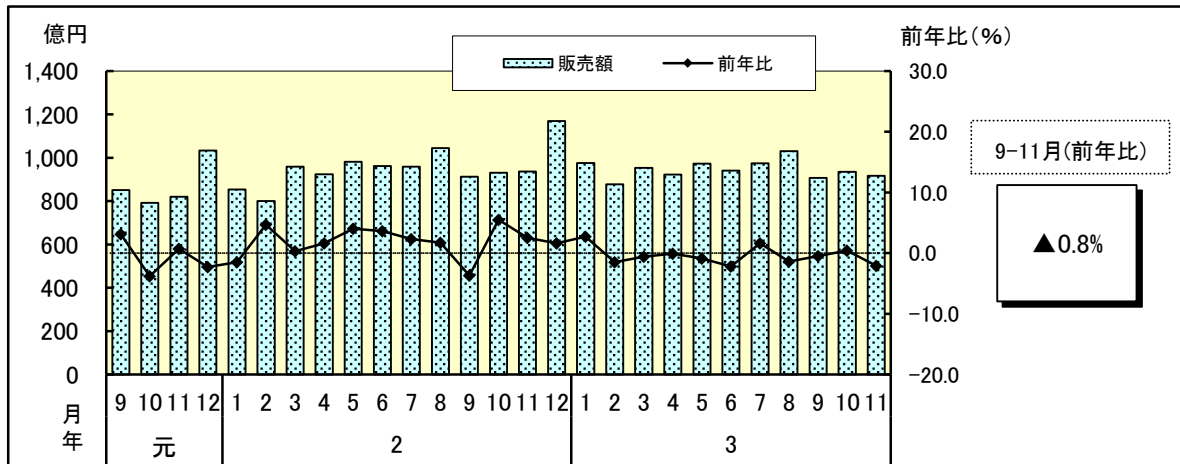
資料編

目 次

1. 個人消費	1
2. 生産活動	4
3. 雇用情勢	5
4. 設備投資	6
5. 企業収益	6
6. 企業の景況感	7
7. 住宅建設	7
8. 公共事業	8
9. 消費者物価	8
10. 金融	9
11. 企業倒産	9

1. 個人消費 … 新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している

スーパー販売額



全店舗ベース

区分	全国 (前年比%)	東北 (前年比%)
2年	3.4	1.8
2. 10-12	3.6	3.1
3. 1-3	0.6	0.2
4-6	▲1.1	▲1.1
7-9	▲0.4	▲0.2
3. 7	0.8	1.6
8	▲2.3	▲1.4
9	0.4	▲0.5
10	0.9	0.4
11	▲0.4	▲2.1

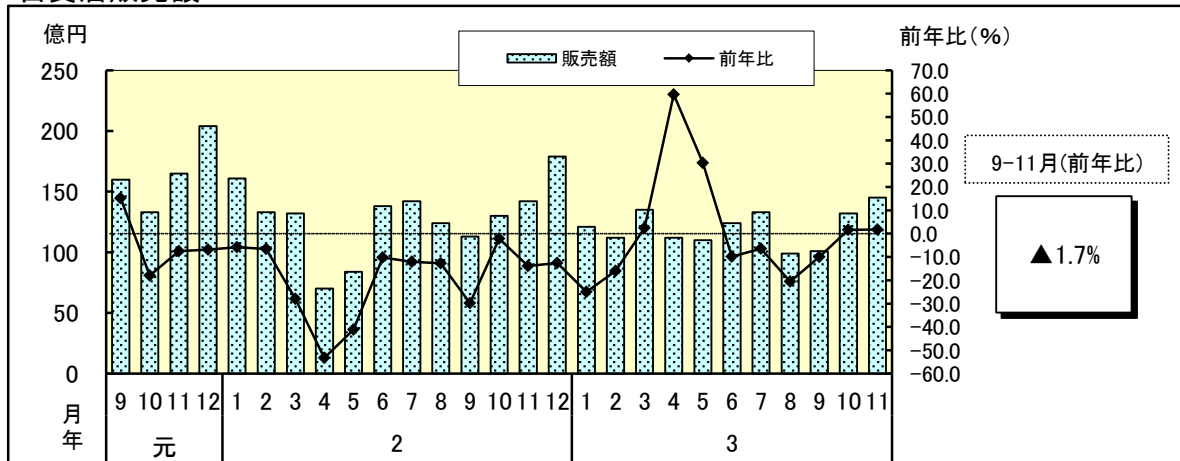
(注)2年分は年間補正後

品目別販売額

区分	衣料品 (前年比%)	身の回り品 (前年比%)	飲食料品 (前年比%)	その他商品 (前年比%)
3. 7	2.4	▲19.4	2.1	0.4
8	▲22.7	▲32.0	0.5	▲4.2
9	▲35.6	▲58.3	1.8	▲4.0
10	▲33.9	▲52.4	2.7	2.1

[経済産業省、東北経済産業局]

百貨店販売額



全店舗ベース

区分	全国 (前年比%)	東北 (前年比%)
2年	▲25.5	▲19.0
2. 10-12	▲11.6	▲10.3
3. 1-3	▲10.1	▲13.7
4-6	40.9	18.3
7-9	▲4.8	▲12.1
3. 7	2.6	▲6.5
8	▲13.9	▲20.6
9	▲4.5	▲10.0
10	2.5	1.6
11	7.5	1.7

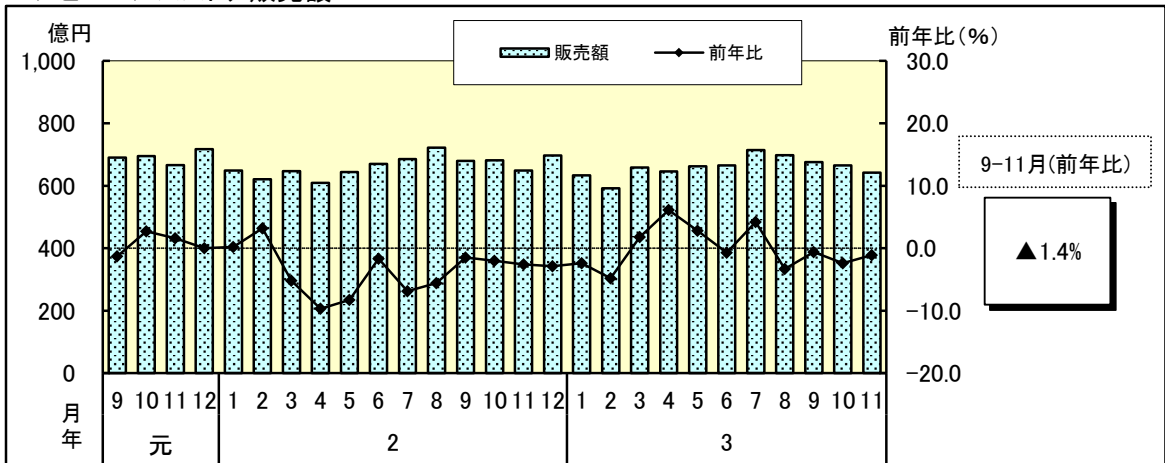
(注)2年分は年間補正後

品目別販売額

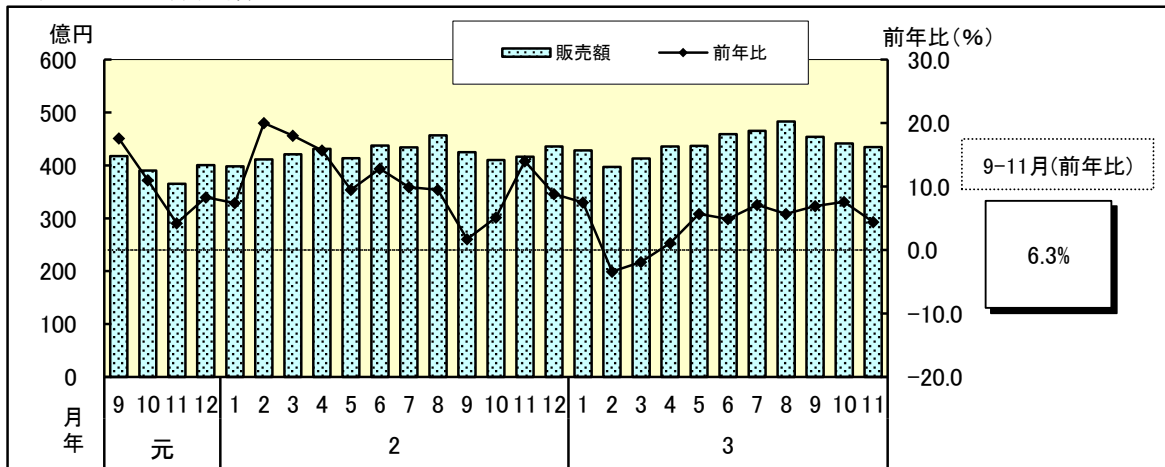
区分	衣料品 (前年比%)	身の回り品 (前年比%)	飲食料品 (前年比%)	その他商品 (前年比%)
3. 7	▲18.9	▲2.0	▲4.0	0.3
8	▲39.8	▲24.0	▲11.2	▲16.3
9	▲15.5	▲12.8	▲7.1	▲6.4
10	▲3.8	9.6	▲1.1	7.2

[経済産業省、東北経済産業局]

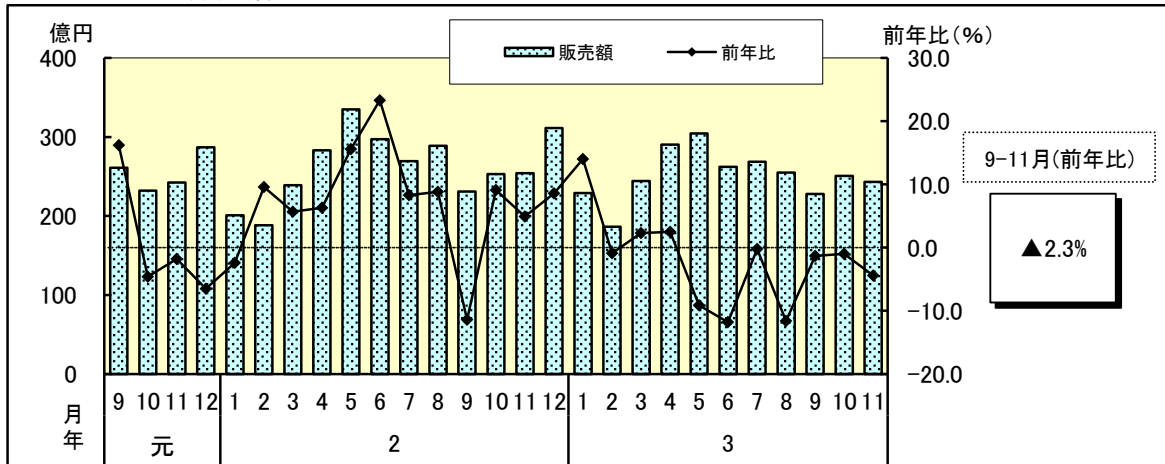
コンビニエンスストア販売額



ドラッグストア販売額



ホームセンター販売額



全店舗ベース

コンビニエンスストア

区分	全国 (前年比%)	東北 (前年比%)
2年	▲4.4	▲3.7
2. 10-12	▲3.2	▲2.5
3. 1-3	▲2.8	▲1.7
4-6	5.0	2.6
7-9	2.0	0.0
3. 7	6.1	4.2
8	▲1.2	▲3.3
9	1.1	▲0.6
10	▲0.2	▲2.4
11	▲1.0	▲1.1

ドラッグストア

区分	全国 (前年比%)	東北 (前年比%)
2年	6.6	10.8
2. 10-12	6.3	9.2
3. 1-3	▲2.8	0.7
4-6	▲0.1	3.9
7-9	1.9	6.6
3. 7	2.2	7.1
8	0.5	5.7
9	3.2	6.9
10	4.7	7.6
11	1.2	4.4

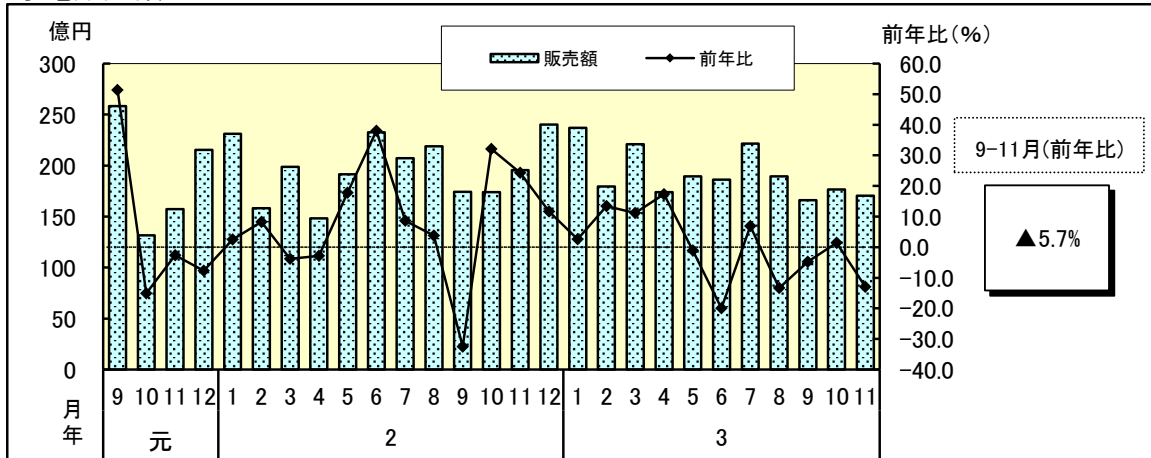
ホームセンター

区分	全国 (前年比%)	東北 (前年比%)
2年	6.8	7.3
2. 10-12	8.1	7.6
3. 1-3	3.5	5.1
4-6	▲4.5	▲6.4
7-9	▲6.8	▲4.7
3. 7	▲2.4	▲0.2
8	▲14.0	▲11.6
9	▲3.2	▲1.3
10	0.4	▲1.0
11	▲3.7	▲4.4

(注)2年分は年間補正後

[経済産業省、東北経済産業局]

家電販売額



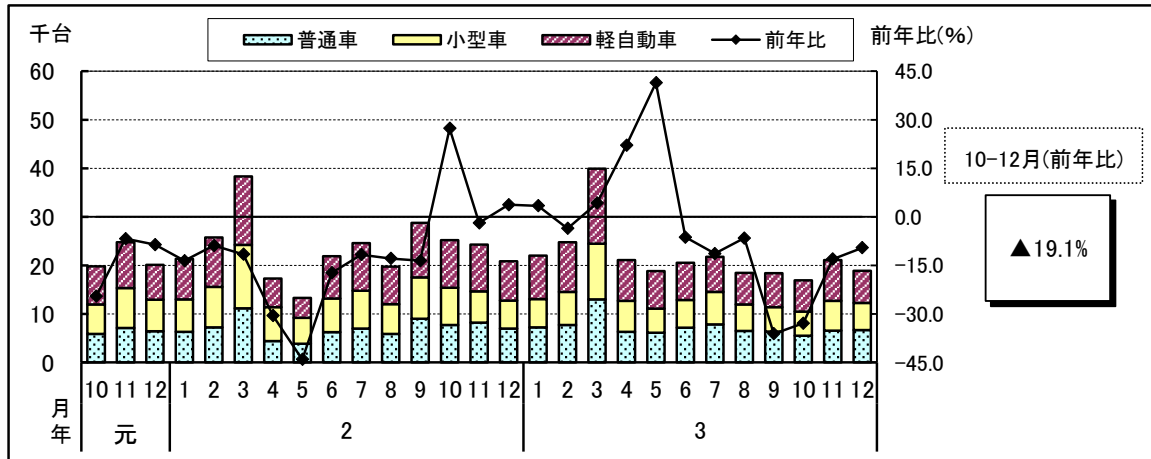
全店舗ベース 家電

区分	全国 (前年比%)	東北 (前年比%)
2年	5.1	6.5
2. 10-12	21.6	20.9
3. 1-3	10.9	8.4
4-6	▲4.1	▲4.0
7-9	▲8.5	▲3.9
3. 7	▲2.9	6.9
8	▲18.3	▲13.4
9	▲3.3	▲4.8
10	1.9	1.4
11	▲10.6	▲13.0

(注)2年分は年間補正後

[経済産業省、東北経済産業局]

乗用車新車登録・届出台数

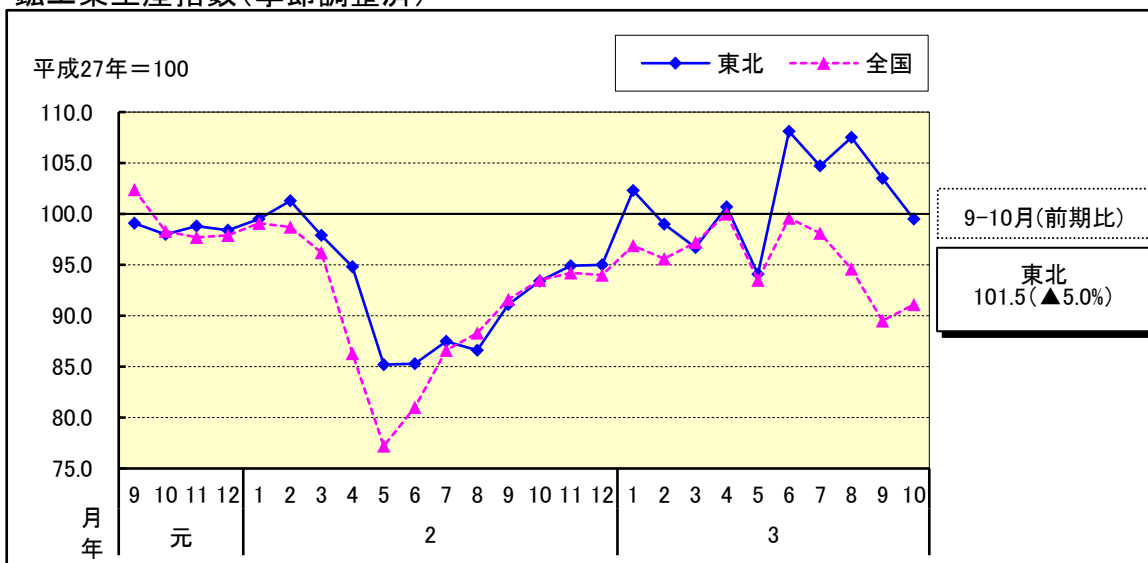


区分	全国 (前年比%)	東北 (前年比%)	前年比(%)		
			普通	小型	軽
3年	▲3.5	▲6.6	3.8	▲16.5	▲6.5
3. 1-3	4.2	1.6	13.6	▲14.5	6.5
4-6	25.0	15.1	35.4	▲11.6	27.1
7-9	▲16.4	▲19.9	▲5.1	▲23.6	▲28.1
10-12	▲19.1	▲19.1	▲18.3	▲16.1	▲22.0
3. 8	▲2.5	▲6.6	10.1	▲10.5	▲16.2
9	▲34.3	▲36.2	▲28.8	▲41.6	▲37.9
10	▲32.3	▲32.9	▲29.1	▲35.1	▲34.2
11	▲13.5	▲13.1	▲20.0	▲4.9	▲12.6
12	▲11.0	▲9.6	▲4.4	▲3.4	▲18.4

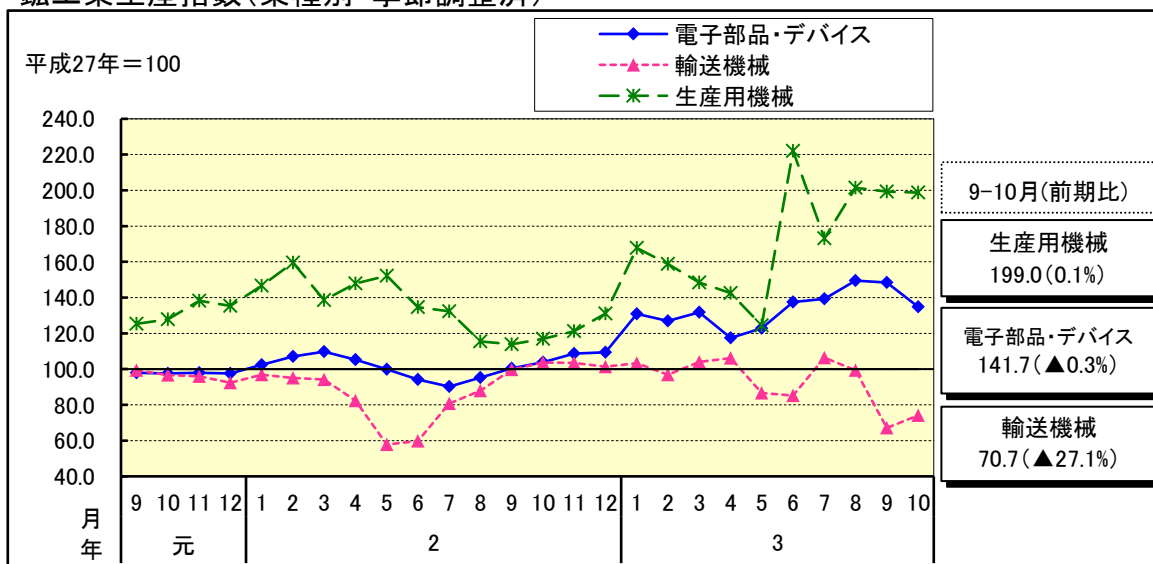
[日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会、東北運輸局]

2. 生産活動 … 持ち直している

鉱工業生産指数(季節調整済)



鉱工業生産指数(業種別・季節調整済)



鉱工業生産指数(季節調整済)

区分	全国 〔平成27年=100〕		東北 〔平成27年=100〕		電子部品・デバイス(Wt. 1,526.2)				輸送機械(Wt. 788.7)				生産用機械(Wt. 674.6)			
	前年比%		前年比%		前年比%		前年比%		前年比%		前年比%		前年比%			
	前月比%	前年比%	前月比%	前年比%	前月比%	前年比%	前月比%	前年比%	前月比%	前年比%	前月比%	前年比%	前月比%	前年比%		
2年	90.6	▲10.4	92.7	▲6.5	102.3	5.8	89.3	▲11.8	133.9	2.1						
2. 10-12	93.9	▲3.5	94.4	▲2.3	107.3	12.6	102.8	14.9	123.1	2.2						
3. 1-3	96.6	▲1.0	99.3	5.2	0.2	129.9	21.1	101.4	▲1.4	158.3	28.6					
4-6	97.7	1.1	19.9	101.0	1.7	14.3	126.0	▲3.0	92.7	▲8.6	163.0	3.0				
7-9	94.1	▲3.7	5.8	105.2	4.2	18.8	145.7	15.6	91.0	▲1.8	191.3	17.4				
3. 7	98.1	▲1.5	11.6	104.7	▲3.1	18.1	139.3	1.2	53.0	106.4	24.7	29.1	173.2	▲22.0	27.9	
8	94.6	▲3.6	8.8	107.5	2.7	25.7	149.5	7.3	58.3	99.4	▲6.6	15.5	201.5	16.3	78.7	
9	89.5	▲5.4	▲2.3	103.5	▲3.7	13.6	148.4	▲0.7	47.7	67.2	▲32.4	▲32.7	199.3	▲1.1	74.9	
10	91.1	1.8	▲4.1	99.5	▲3.9	5.2	134.9	▲9.1	28.7	74.1	10.3	▲30.0	198.7	▲0.3	66.1	

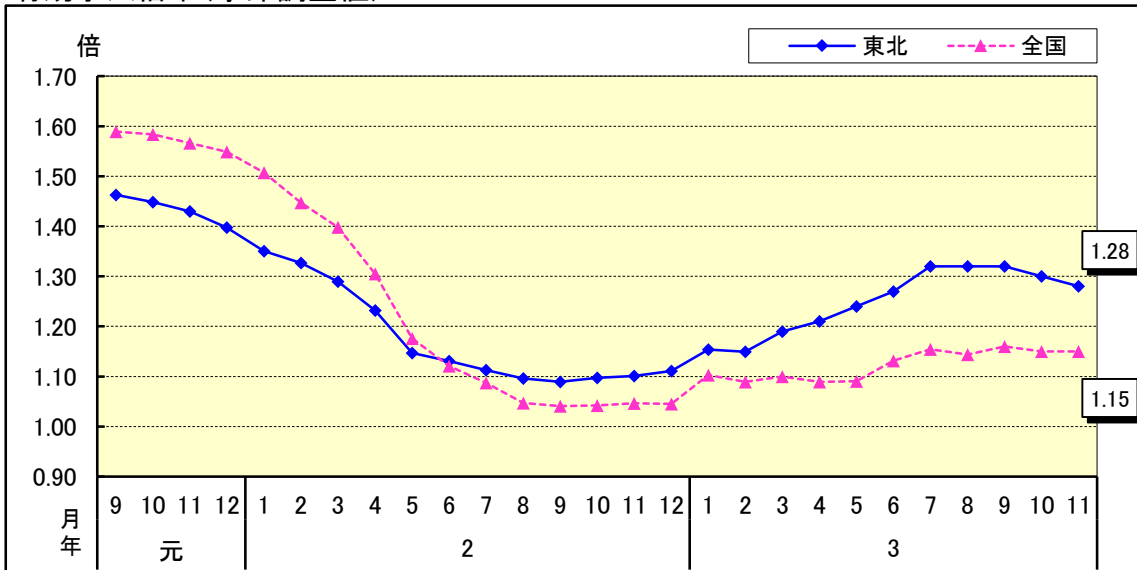
(注) 1. 前年比は原指数、東北の3年10月は速報値

2. 2年分は年間補正後

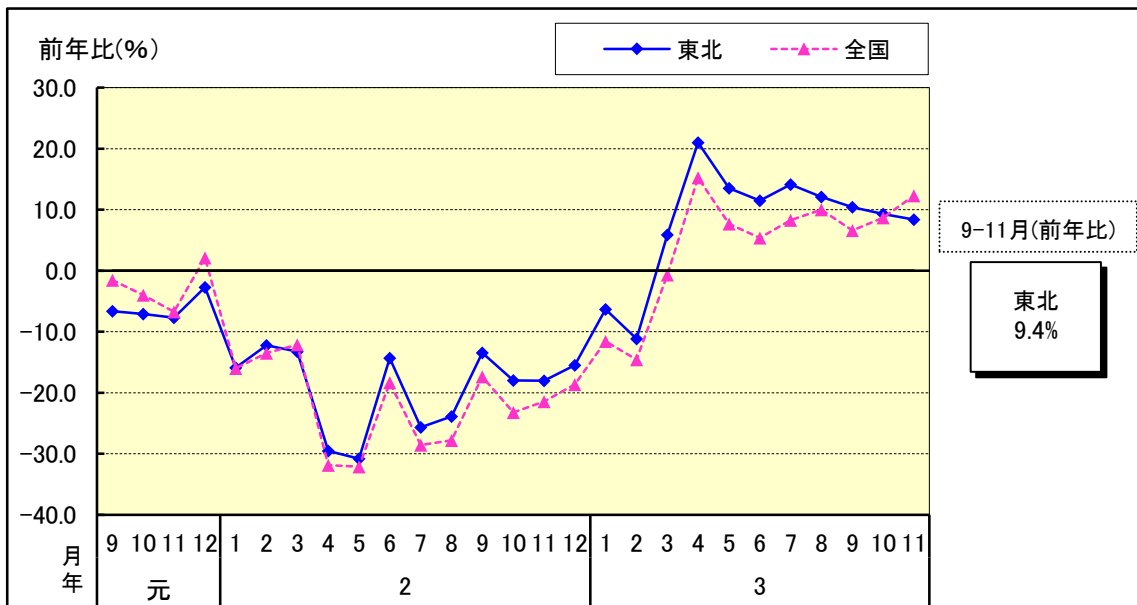
〔経済産業省、東北経済産業局〕

3. 雇用情勢 … 新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある

有効求人倍率(季節調整値)



新規求人数(原数値・前年比)



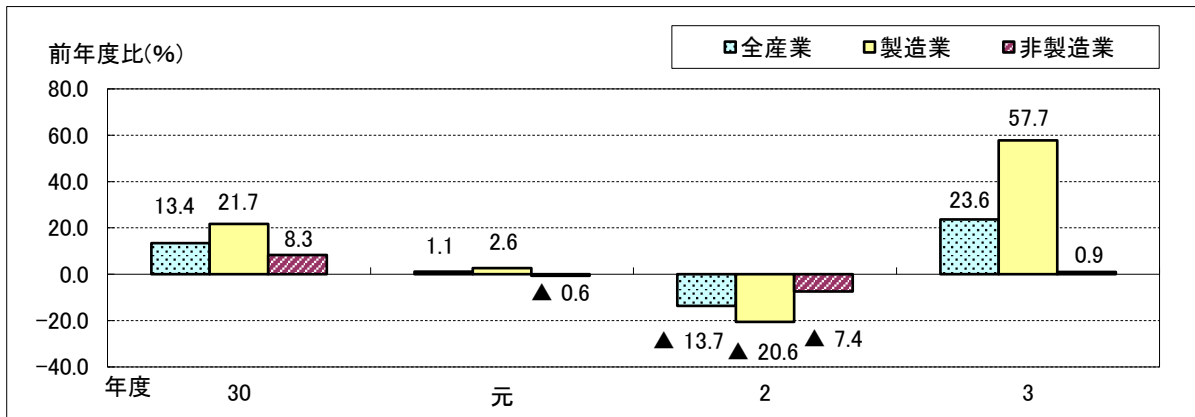
区分	有効求人倍率(季節調整値)				新規求人数			完全失業率	
	全国 (倍)	東北 (倍)	有効 求人数 (人)	有効求 職者数 (人)	全国 (前年比%)	東北 (前年比%)	新 規 求 職 者 数 (前年比%)	全国 (%)	東北 (%)
2年	1.18	1.18	166,556	141,728	▲21.7	▲19.1	▲7.1	2.8	2.8
2. 10-12	1.04	1.10	161,531	146,445	▲21.2	▲17.2	▲9.0	2.9	2.9
3. 1-3	1.10	1.17	168,266	144,344	▲9.1	▲4.0	▲4.0	2.8	3.2
4-6	1.10	1.24	179,844	144,973	9.2	15.2	▲0.2	3.0	2.9
7-9	1.15	1.32	181,506	137,487	8.2	12.1	▲4.6	2.8	2.5
3. 7	1.15	1.32	182,213	137,633	8.3	14.1	▲11.9	2.8	
8	1.14	1.32	181,893	137,932	10.0	12.1	0.6	2.8	
9	1.16	1.32	180,413	136,897	6.6	10.4	▲1.7	2.8	
10	1.15	1.30	179,119	137,637	8.7	9.3	▲4.8	2.7	
11	1.15	1.28	177,853	138,978	12.3	8.4	6.1	2.8	

(注) 1. 新規求人数・新規求職者数は原数値、完全失業率の年・四半期は原数値、各月は季節調整値
2. 2年12月以前の季節調整値は改定値

[厚生労働省、総務省]

4. 設備投資 … 3年度は増加見込み

設備投資



(前年度比増減率: %)

区 分	全 産 業	規 模 別			業 種 別	
		大 企 業	中 堅 企 業	中 小 企 業	製 造 業	非 製 造 業
3 年 度	(23.7)	(12.4)	(68.2)	(▲ 9.8)	(63.0)	(▲ 1.8)
	23.6	16.9	49.4	3.1	57.7	0.9

(注) 1. ソフトウェア投資額を含み、土地購入額を除く

2. ()書きは前回調査結果

3. グラフについて、30-2年度は当該年度の1-3月期調査結果で、3年度は見込み

[東北財務局「法人企業景気予測調査(3年10-12月期調査)」]

5. 企業収益 … 3年度は増益見込み

経常利益

(前年度比増減率: %)

区 分	全 産 業	規 模 別			業 種 別	
		大 企 業	中 堅 企 業	中 小 企 業	製 造 業	非 製 造 業
3 年 度	(9.8)	(8.1)	(16.4)	(2.4)	(19.4)	(▲ 0.9)
	6.8	▲ 0.4	27.0	1.8	13.8	▲ 0.6

(注) 1. 電気・ガス・水道、金融・保険を除いた計数

2. ()書きは前回調査結果

[東北財務局「法人企業景気予測調査(3年10-12月期調査)」]

6. 企業の景況感 … 「上昇」超に転じている

景況判断BSI【原数値】

(前期比「上昇」-「下降」社数構成比)

(単位:%ポイント)

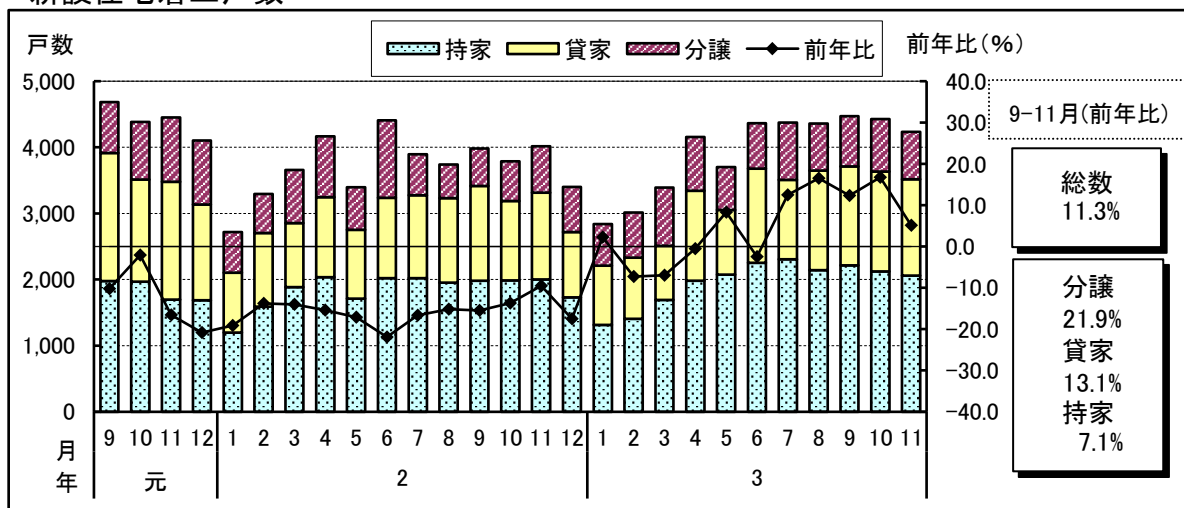
区分	3年7~9月 (3年7-9月期調査)	3年10~12月 現 状 判 断	4年1~3月 見 通 し	4年4~6月 見 通 し
全 産 業	(▲ 6.8)	(3.3) 2.3	(▲ 7.1) ▲ 4.2	3.3
規 大 企 業	(0.0)	(2.5) 2.6	(▲ 0.8) 3.5	0.9
模 中 堅 企 業	(▲ 1.5)	(9.0) 5.5	(▲ 3.0) 0.5	5.5
別 中 小 企 業	(▲ 11.7)	(0.5) 0.5	(▲ 11.2) ▲ 9.0	2.9
業 製 造 業	(▲ 4.3)	(17.5) 2.4	(▲ 7.6) ▲ 2.9	5.8
種 別 非 製 造 業	(▲ 7.9)	(▲ 2.9) 2.3	(▲ 6.8) ▲ 4.8	2.3

(注) () 書きは前回調査結果

[東北財務局「法人企業景気予測調査(3年10-12月期調査)」]

7. 住宅建設 … 前年を上回っている

新設住宅着工戸数

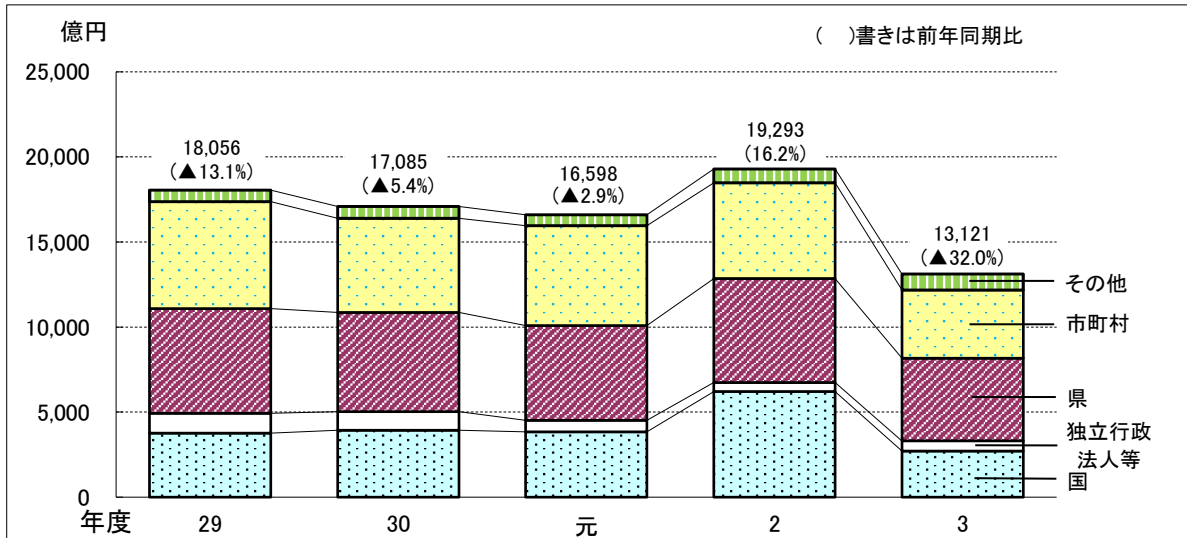


区分	全国	東北	持家	貸家	分譲
	(前年比%)	(前年比%)			
2年	▲ 9.9	▲ 15.9	▲ 6.5	▲ 27.9	▲ 15.9
2. 10-12	▲ 7.0	▲ 13.5	6.8	▲ 26.6	▲ 29.5
3. 1-3	▲ 1.6	▲ 4.4	▲ 5.6	▲ 11.8	9.3
4-6	8.1	1.3	9.5	8.3	▲ 21.4
7-9	7.2	13.7	11.9	5.8	38.8
3. 7	9.9	12.5	14.4	▲ 4.5	40.2
8	7.5	16.5	9.8	17.3	40.8
9	4.3	12.3	11.5	4.4	35.3
10	10.4	16.7	6.9	25.8	32.2
11	3.7	5.1	3.0	11.0	2.3

[国土交通省]

8. 公共事業 … 前年度を下回っている

前払金保証請負金額(12月末累計)



(注) その他には地方公社を含む

(単月)

月	3年10月	11月	12月
前年同月比%	▲55.7	▲46.1	▲17.1

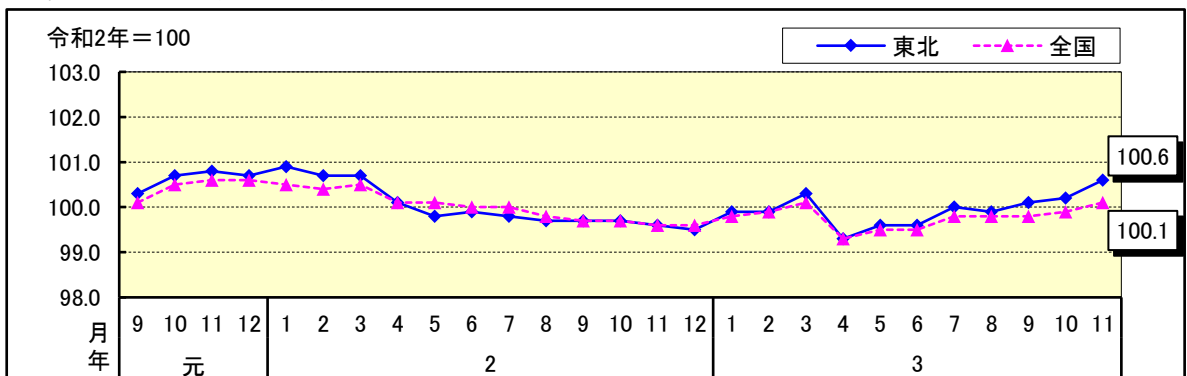
(参考:年度末累計)

年度	29年度	30年度	元年度	2年度
前年度比%	▲13.3	▲2.7	▲3.0	12.5

[東日本建設業保証(株)ほか]

9. 消費者物価 … 前年を上回っている

消費者物価指数(生鮮食品を除く総合)

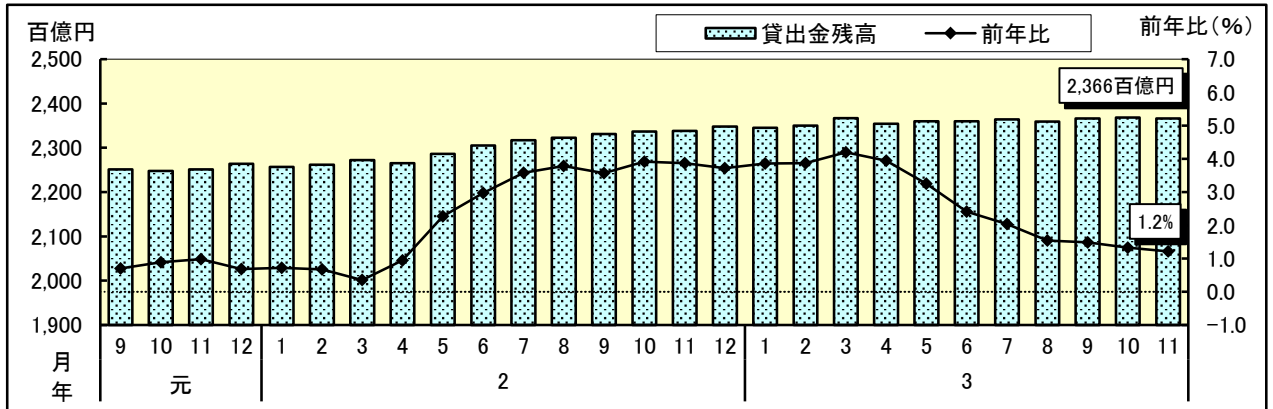


区分	生鮮食品を除く総合 [令和2年=100]					
	全国			東北		
	指数	前月比%	前年比%	指数	前月比%	前年比%
2年	100.0		▲0.2	100.0		▲0.4
2. 10-12	99.6	▲0.2	▲0.9	99.6	▲0.1	▲1.1
3. 1-3	99.9	0.3	▲0.5	100.0	0.4	▲0.8
4-6	99.4	▲0.5	▲0.6	99.5	▲0.5	▲0.4
7-9	99.8	0.4	0.0	100.0	0.5	0.3
3. 7	99.8	0.3	▲0.2	100.0	0.4	0.2
8	99.8	▲0.1	0.0	99.9	▲0.2	0.2
9	99.8	0.1	0.1	100.1	0.3	0.4
10	99.9	0.1	0.1	100.2	0.1	0.5
11	100.1	0.3	0.5	100.6	0.4	1.0

(注) 東北の四半期分については、端数処理後の月別指数を基に算出
[総務省]

10. 金融 … 貸出金残高は、前年を上回っている

貸出金残高



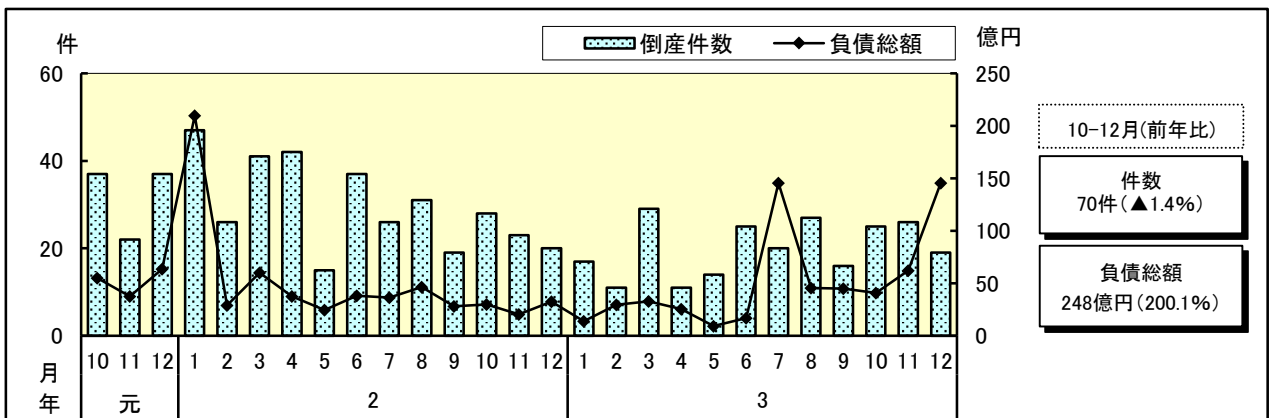
貸出金残高・貸出約定平均金利

区分	貸出金残高			貸出約定平均金利		
	合計	国内銀行	信用金庫	総合%	月中増減%	
	前年比%	前年比%	前年比%			
3.	2	3.9	3.6	6.2	0.803	▲ 0.003
	3	4.2	3.9	6.8	0.799	▲ 0.004
	4	3.9	3.6	6.7	0.798	▲ 0.001
	5	3.2	3.0	4.9	0.790	▲ 0.008
	6	2.4	2.2	3.7	0.789	▲ 0.001
	7	2.0	2.0	2.6	0.786	▲ 0.003
	8	1.5	1.5	1.7	0.785	▲ 0.001
	9	1.5	1.5	1.4	0.787	0.002
	10	1.3	1.3	1.5	0.786	▲ 0.001
	11	1.2	1.2	1.3	-	-

- (注) 1. 貸出金残高は管内に所在する国内銀行(ゆうちょ銀行を除く)の店舗及び管内に本店を有する信用金庫の合計
 2. 貸出約定平均金利は管内に本店を置く地方銀行分
 [日本銀行、信金中央金庫]

11. 企業倒産 … 件数は前年を下回っており、負債総額は前年を上回っている

企業倒産件数・負債総額



区分	件数			負債総額		
	全国	東北		全国	東北	
	前年比%	(件)	前年比%	前年比%	(百万円)	前年比%
3年	▲22.4	240	▲32.4	▲5.7	61,247	3.4
3.	1-3	▲28.2	57	▲50.0	7,640	▲74.4
	4-6	▲18.9	50	▲46.8	5,151	▲48.6
	7-9	▲28.4	63	▲17.1	23,613	113.1
	10-12	▲12.1	70	▲1.4	24,843	200.1
3.	8	▲30.1	27	▲12.9	4,546	▲2.2
	9	▲10.6	16	▲15.8	4,507	61.1
	10	▲15.9	25	▲10.7	4,095	37.4
	11	▲10.4	26	13.0	6,202	204.6
	12	▲9.7	19	▲5.0	14,546	345.9

[株]東京商工リサーチ